



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 362

September 2021

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

ドイツ語講座・ドイツ文化教室2021年度第Ⅲ期開講

会長 柘田 義一

10月11日(月)よりドイツ語講座・ドイツ文化教室の2021年度第Ⅲ期が開講します。

再度繰り返される「緊急事態宣言」等による生活の自粛制限により、長きにわたる日独間の人的交流の途絶により、ドイツが遠い存在になってはいませんか。協会ではこのような事態を考慮して、昨年度は会報にて感染防止期間特別企画「自宅でドイツを楽しもう！」の特別コーナーを設けたり、ドイツ在住の会員による「今のドイツ事情」などを紹介してきました。今年度は8月から「ZOOMによる Stammtisch」を開催し、11月末には「日独交流160周年」記念行事をオンラインを活用してドイツへも発信する予定です。

ドイツ語講座・ドイツ文化教室は幸いなことに継続開講ができていますが、新年度に入り受講生は激減しています。上記の理由などから、更にはオンライン授業に不慣れや馴染めないなどの理由から本来のドイツ語学習が出来ないと感じられている方も多かろうと思います。「なぜ、こんな時にドイツ語の学習を？」と思われる方も多かろうと思います。

兵庫県下の感染者数は夏以降急拡大をしています。どうやら感染の終息は当分は望めそうもありませんし、かつてのようなドイツ及びドイツ語圏との往来もままならないでしょう。しかしこの機会をドイツ語の学び、ブラッシュアップや学び直しの好機ととらえて、協会のドイツ語講座・ドイツ文化教室を受講してみませんか。このような時でも、講座授業にてネイティブの先生との会話を楽しみ研鑽をし、又はドイツの記事から最新のドイツ事情を得て理解を深かめ、そして今度ドイツ語圏に行くための、準備をされている方々がいらっしゃいます。コロナ禍でもドイツ語の学習を！

10月からの第Ⅲ期は、本来の対面授業にて行う予定です。これまでと同様にマスク等の着用をはじめ授業でのウイルス感染防止に努めていきます。神戸市内での感染状況が悪化した場合にはオンライン授業に移行をしますので、予めご了承をお願いいたします。

第Ⅲ期の開講授業の詳細については、同封のパンフレットをご覧ください。

ドイツ語講座の多くのクラスは前期からの継続クラスですが、途中からの受講は可能ですので、奮ってご参加ください。

神戸日独協会ドイツ語講座特別講座

「ドイツ語をより身近に、より深く」

神戸日独協会は4～6月にドイツ語教育に関係する協会理事によって、ドイツ語に対する関心・興味・理解を改めて深めていただける特別講座を開講しました。この講座は通常授業とは異なる観点、情報化時代に即した授業方法により、通常授業では提供できない講座を提供しました。

さらにドイツ語学習に興味・関心を深めていただきたく、10月からの講座第Ⅲ期開講に合わせて、ドイツ語特別講座「ドイツ語をより身近に、より深く」を4月に引き続き開講します。

この講座は入門・初級者から中級者を対象にした講座です。ドイツ語をこれから学ぼうとする方、現在学習されている方、ブラッシュアップしようとする方に最適な講座です。ZOOM使用(対面授業併用)により行いますので、時間の都合や感染予防などで教室へ通えない方にお勧めの講座です。公開講座ですので、非会員の方も是非ともご参加ください。

開講日時 : 10月2日・9日の午前10:30～12:00

授業形式 : ZOOMによるオンライン授業。協会会議室での対面授業を併用。

定員 : 20名

受講料 : 1回会員1000円(非会員1500円)

お申込 : 連続授業ですので2回単位でお申込みください。

神戸日独協会事務局へ電話(078-230-8150)またはメール(info@jdg-kobe.org)にて、9月29日までにお申込みください。

申込後、入金を確認し次第、アクセスのリンクをお送りします。

講義内容と講師紹介

ドイツ語の特徴を探る～日本語との対照的対比から

担当: 会長 柘田義一 (神戸大学名誉教授)

ドイツ語の特徴とは何でしょう、どのように理解していますか、日本語との違いは？ドイツ語を話していてドイツ語の音は日本語と同じでしょうか。日本語の音との違いは。「さあこれあげるよ」と Da hast du es.での主語の違い、「この部屋には窓がない」: Dieses Zimmer hat kein Fenster.は日本語では存在でドイツ語では所有で表現し、「私は髪を切ってもらった」: Ich habe mir die Haare schneiden lassen.は日本語では受身でドイツ語では使役で表現します。このように同じ動作・事態の表現でも日独両語では異なる表現にお気づきですか。このような相違については文法の授業でもましてや会話の授業でもほとんど触れることはないでしょう。日独両語間での表現の相違に注目して、ドイツ語の特徴を、ドイツ人の物の捉え方を探ってみませんか。ドイツ語による会話に興味をお持ちの方にお勧めの講座です。

講師紹介 専門はドイツ語学 Deutsche Philologie (史的統語論、中世ドイツ語)。30年余り神戸大学のほか兵庫県諸大学の独文科にてドイツ語学概論、ドイツ語史等を担当。その間ミュンヘン大学留学(DAAD)、大学入試センター客員教授、阪神ドイツ文学会会長兼日本独文学会阪神支部長等を歴任。30余年間神戸日独協会「ドイツ語講座」を担当。ドイツ連邦共和国功労勲章受勲。

日独交流160周年記念行事の予告

神戸日独協会は日独交流160周年記念行事として、11月27日(土)夕刻から記念講演会を開催します。エバーツ総領事の記念講演などを予定しています。感染状況次第ですが、久しぶりに会員の皆様とも会えるように企画・準備を進めています。この講演会はオンライン併用によりドイツへも発信します。感染状況及び集会規制の緩和などが流動的ですので、具体的な実施方法については後日改めてお知らせしますが、日程をご予定に入れておいてください。

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館主催

日独交流160周年記念「ドイツ深堀りマンガ大賞」のご案内

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館は日独交流160周年を記念して、京都精華大学国際マンガセンター、京都国際マンガミュージアム、ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都との共催でマンガコンペ「ドイツ深堀りマンガ大賞」を開催しています。

テーマ： マンガで表すあなたのドイツ

募集期間： 2021年8月1日～2021年10月3日

応募方法など詳細は、<https://doitsufukabori.jp> をご覧ください。

マンガを通してあなたのドイツを表現して、奮って応募してください。

コロナ感染第5波の急拡大と

兵庫県への「緊急事態宣言」発令について

コロナ感染の第5波は猛威をふるい、9月に入っても兵庫県でのコロナ感染者数が上昇し高止まりをしています。8月20日から4度目の「緊急事態宣言」が発令されています。宣言期限の9月12日までには解除されそうにありません。

この度も神戸日独協会では会員の感染予防を第一に、これまでの宣言と措置発令時と同じ措置をとっています。

- ・「ドイツ語講座」と「ドイツ文化教室」はオンラインを原則としますが、クラスの事情により一部は対面授業を併用し、継続開講をしています。各クラスの授業形式については事務室へお問い合わせください。
- ・その他の協会の会合等については、原則として自粛をしますが、オンライン等の利用により、感染予防に十二分に配慮の上で、開催可能なものは実施します。
- ・事務室は8月23日より14:00～17:00の開室としています。ご不便をおかけします。時間外の協会へのご連絡等は、留守番電話・ファックス・メールをご利用ください。三密の回避、マスクの着用、不要不急の外出の自粛につとめて、この緊急事態を無事に乗り切りましょう。

Stammtisch mit Zoom

Düsseldorf での日本人学校での経験：理事 島多 峰史

8月21日(土) 10時から第1回目の Stammtisch mit Zoom を開催いたしました。

最初に登場していただいたのは、理事の島多 峰史(しまた たかし)さんです。島多さんは現在、尼崎市立成徳小学校の校長をされていますが、以前、ドイツの日本人学校で教えていたとお聞きしたことがあり、その話を詳しくお伺いしたいと前々から思っていました。

まず、どういうルートで海外の日本人学校の先生になるかですが、文部科学省からの募集に応募します。この時、どこの国を希望とかの選択はできず、どこでも行きますという大前提です。島多さんは Düsseldorf への派遣が決まり、その時、ドイツとの縁を感じたそうです。というものの、学生時代に所属していた関西学院グリークラブの海外演奏旅行で最初に訪れた国がドイツで、Freiburg の近くの Kasiserstuhl の Bötzingen という村にホームステイしました。その後、新婚旅行もドイツで、日本人学校への赴任は3回目のドイツです。

島多さんが Düsseldorf で教えていたのは2000～2003年の3年間、生徒数は約600人の月～金曜の日本の小・中学校と同じ学習内容を進めている学校で、約30人の先生の7～8割は島多さんのように日本から派遣された方、他は現地在住の方で、ドイツ語、英語、音楽などは主に現地在住の先生が担当していました。児童生徒も大きく2タイプに分かれ、ひとつは日本企業などから派遣されている方の子供たちで、3～5年で帰国します。もうひとつは永らく住んでいる日本人の子供たちです。島多さんが担当したのは、1年目は小学校の全教科、2年目は専門の理科でした。同じ校舎を使用している学校には、土曜日だけ開講している「日本語補習校」という形態の学校もありました。

もともとドイツの小学校の先生というのは勉強を教えるのが仕事で、学校以外のことには関わりません。登下校の見守りもないし、放課後の補習は禁止、家庭訪問も禁止されています。クラブ活動もないし、体育や音楽のような実技を伴う教科もありません。その点、日本人学校はドイツにありながら、音楽があったり、クラブ活動があったり、多分に日本的です。島多さんはもともとバスケットボールをやっていたのでバスケットボールと音楽系のクラブを指導しました。また、島多さんは日本人学校に在任中、ドイツとの交流を図りたいと、環境先進国ドイツの施設見学をしたりもしました。日本人学校の運動会は、現地の日本の企業も参加して、まるで日本人コミュニティのお祭りのようでした。

帰国後2004年から10年間、芦屋国際中等教育学校に赴任し、そこでドイツ語の授業が開講するように尽力しました。現在、兵庫県下でドイツ語の授業がある高校は、国際高校(キールのボン先生と交流があります)、西宮高校音楽科(会員の井川さんが教えています)、そして芦屋国際中等教育学校の3つだけです。

島多さんが好きなドイツ語は *erziehen* で、教育というのは「もっている能力を *ziehen* する(引き延ばす)」という信念。島多さんのドイツへの熱い思いと、教育への情熱に溢れる語りにも、1時間があったという間に過ぎてしまいました。

(理事 押尾愛子)

9月のStammtisch mit Zoomのお知らせ

日 時：9月18日(土)午前10時～11時

話題提供：会員 妹尾 行雄さん(デュッセルドルフで働いていました)

Zoomアカウントをお持ちの方は、Zoomを開いて「ミーティングに参加」ボタンを押し、下記のミーティングIDとパスコードを入力してください。

神戸日独協会 Stammtisch mit ZOOM

<https://us02web.zoom.us/j/85366355191?pwd=N05kSTI1bIVkYkNqc2kvQmd5VjIPQT09>

ミーティングID：853 6635 5191

パスコード：393924

参加は無料で、事前申し込みも要りませんので、ご参加ください。

10月以降の予定

10月16日(土) 会員 久利 将輝さん (ドイツで眼鏡のマイスター取得)

11月20日(土) 会員 小野 真理さん (ドイツのオケでバイオリンを弾いていました)

ドイツ新事情 —Deutsche Welleの記事から—

ドイツの新しい「3Gルール」

会員 柘田 節子

ドイツでは「コロナ感染予防の諸規則」が連邦州毎で異なっていたので、長い間人々はしばしばコロナ規則の多さに困惑してきた。しかしこれらの全てが8月23日から変わることになった。ワクチン接種を2度受けた(geimpft)人やコロナ検査を受け陰性証明を提示できる(getestet)人や感染から快復した(genesen)人は、今後は広範囲に自由に活動することができるようになる。この新たなルールは、対象の人々を表すドイツ語の頭文字をとってわかりやすく「3Gルール」と呼ばれる。このルールはワクチン接種を未だ受けていない人への風当たりを強めている。たとえどんな理由であれまだワクチン接種を決めかねている人はコロナ検査での陰性を証明する必要があり、この証明は24時間より古いものはダメなのだ。そして10月11日からはすべての市民に対するコロナ検査が有料になる。PCR検査費用は35～50ユーロである。ワクチン非接種者として今後社会生活に参加したい人は、大金を支払う羽目に陥るのである。

ベルリンのカフェ付きパン屋では店員がコロナ検査証またはワクチン証明書を見せて欲しいと丁寧に客に尋ね、EUデジタル証明書「CovPass」を見せてもらい、更にドイツで広く普及している「Luca-App」への登録を丁寧に求めた。場合によっては必要となる接触者を後から追跡するためである。このパン屋では新たなコロナルールに関しては皆この新しい状況への心づもりをしているようで何の問題もない。

ドイツでは59%の人たちがこれまでにコロナウイルス予防接種を2度受けているが、集団免疫を獲得するには、ウイルス学者たちの見解では各年代グループでの接種率が85～90%に達していなければならないという。なるほどワクチン接種の速度が最近再び幾分上がっているのは、新

たな3Gルールの話が広まっていることから確かである。過去7日間の10万人当たりの新規感染者指数は8月23日には56.4に増えたが、政府が感染指数160で非常ブレーキをかけ多くの制限を命じたこの春よりもはるかに少ない数値である。しかし多くのワクチン接種済みの人たちがいるにもかかわらず、未だにパンデミックは存在している。ワクチン接種を受けていて感染する人の殆どは穏やかな病状しか被らないし、病院に負担をかけることも殆どない。それ故に連邦政府は今後はコロナ政策で何をより厳しく講じるかという措置を決定するために病院負担、入院患者率(Hospitalisierungsrate)を重視し、もはや従来のように公的感染者数を用いるつもりはないという。基本的な感染予防対策であるAHA+Lルールは引き続き有効であるの言うまでもない。

Deutsche Welle: Genesen, geimpft oder getestet: Die neuen 3G-Regel in Deutschland (23.08.2021)より
(このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています)

会員の広場

ウイルス感染防止のために協会本来の行事・催しが出来ないのも、会員相互の交流の機会を持つことが出来ずにいます。このコーナーは、会報を通して交流していただくための「広場」です。

ご投稿をお待ちしています。今回はご寄稿がありませんでしたので、休載します。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第二月曜まで事務局へ)

事務室からのお知らせ

事務室の開室時間短縮について

8月23日(月)より 事務室開室の時間を下記のように短縮しています。

平日 14:00~17:00 (週末は閉室)

ご不便をおかけしますが、今次の緊急事態をご理解いただき、閉室時間帯に御用の方及び外出を自粛されている方は、協会の(留守番)電話・ファックス、メールをご利用ください:

電話・ファックス: 078-230-8150 メールアドレス: info@jdg-kobe.org

平常の開室時間に復帰する際には、協会ホームページ等でご連絡します。

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の印刷と発送は10月14日(木)を予定しています。お手伝いいただける方は事前に事務局へご連絡下さい

(TEL/FAX 078-230-8150)。

印刷: 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送: 神戸日独協会にて、12:30~